

平成29年1月27日

熊谷学園 2-3 期 南京玉すだれクラブ(46回公演)報告

29.1.26 いきいきサロン万吉 万吉第一集会所 熊谷市万吉

社会福祉協議会から5回目の公演要請です。『万吉』此の字が読めるでしょうか。熊谷では『まげち』と読んでいます。昔からの熊谷市で、市街地から荒川を隔て向こう側の地域です。書物では鎌倉時代に熊谷直実の先祖が初めてこの地に館を構えたと伝えられています。昨年社協から依頼を受け、国が高齢者への交流の場として奨めてきた「いきいきサロン」の一貫として万吉地区の集まりに声を掛けていただきました。

高齢者施設とは異なり、集まった皆さん元気、元気で、中でも94歳のおばあちゃんの元気には脱帽です。我々も健康体操帰り際には、この元気を戴こうと握手して帰りました。午前9時30分頃から始まり、我々の出番は10時過ぎです。今日の衣装作務衣に着替え、休む時間なく公演に移りました。世話人の方からの挨拶の後公演が始まりました。会場は地域の集会所で大きくなく、その中で約40人程の人で、人のすれ違いがやっとの盛況です。先ず我々から一人一人の自己紹介をし、少し風邪気味の舩田さんの口上から「南京玉すだれ」の演技が始まりました。手に持った「すだれ」の手さばきで色々な形に変化する様子にビックリし、「テレビでは見た事があるが、目の前で見るのは初めて・・」という多くの声が聞かれました。「すだれ」の変形による延びの長さにも驚いていました。続いて栗原さんからの「きよしのズンドコ節」の紹介と演技、根岸さんの「サザエさん」健康体操の時には、視察していた3人の若い看護学校生さんにもエプロンを着てもらい、4～5人の足の弱い人を除く全員が立って曲に合わせ、体を動かし楽しい時間になりました。最後に「五輪音頭」を演じ、アンコールに依って約60分の公演が終わりました。



